

(平成22年1月分)

部 門	市況の概要
野 菜	1月期の野菜の入荷状況は、土物類については品薄状態の続いていたタマネギの輸入量が大幅に増加したことにより前年並みとなったが、根菜類、葉菜類、果菜類は年末から続く寒波の影響で作柄が悪く入荷減となり、野菜全体の入荷量は前年同期を4%下回った。 価格は、土物類が全国的な品薄状態から単価高が続く一方、根菜類、葉菜類、果菜類については不況による需要の低迷から単価安となった品目が多く、野菜全体では前年並みとなった。 品目別には、ハクサイが入荷増の単価安、キャベツ、キュウリ、トマトが入荷減の単価安となり、ホウレンソウ、ナス、ピーマン、バレイショは入荷減の単価高、長ダイコン、レタスは入荷減の単価前年並みとなった。また、西洋ニンジンが入荷前年並みの単価安となり、タマネギは入荷前年並みの単価高となった。 根菜類は、入荷が6%減少し、価格は前年並みとなった。 葉菜類は、入荷が5%減少し、価格は6%安となった。 果菜類は、入荷が5%減少し、価格は前年並みとなった。 土物類は、入荷が前年並みで、価格は25%高となった。
果 実	1月期の果実の入荷状況は、柑橘類が産地の出荷調整によって入荷減となり、リンゴ類も小玉傾向のため入荷減となった。イチゴ類は前年並みの入荷となり、メロン類は生育の遅れていたものが当月に集中入荷して入荷増となったものの、果実全体の入荷量は前年同期を6%下回った。 価格は、リンゴ類が大幅な入荷減によって単価高となったが、柑橘類は小玉傾向により、またイチゴ類やメロン類は不況による需要の低迷によって単価安となり、果実全体では前年同期を11%下回った。 品目別には、ミカン、イチゴが入荷前年並みの単価安、イヨカンが入荷減の単価安となり、ふじ、王林は入荷減の単価高、アールスメロンは入荷増の単価安となった。 柑橘類は、入荷が4%減少し、価格は29%安となった。 リンゴ類は、入荷が19%減少し、価格は9%高となった。 イチゴ類は、入荷が前年並みで、価格は9%安となった。 メロン類は、入荷が13%増加し、価格は11%安となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	長崎県，徳島県を中心に，鹿児島県，和歌山県，神奈川県からの入荷。各産地とも低温で肥大が悪く，入荷量は前年同期を 8 % 下回った。 価格は，加工業務を中心に不況による需要の低迷が続いているものの，入荷減により前年並みとなった。
西洋ニンジン	長崎県を中心に，愛知県，鹿児島県，鳥取県，千葉県からの入荷。各産地とも作柄は良かったものの，単価安による出荷調整があり，入荷量は前年並みとなった。 価格は，不況による需要の低迷から前年同期を 2 0 % 下回った。
【葉菜類】 ハクサイ	茨城県，鹿児島県を中心に，愛知県，兵庫県，滋賀県からの入荷。各産地とも前月からの天候不順で作柄が悪かったものの，中央集散機能が発揮され，入荷量は前年同期を 3 % 上回った。 価格は，加工業務を中心に不況による需要の低迷が続いており，前年同期を 1 9 % 下回った。
キャベツ	愛知県を中心に，滋賀県，大阪府，茨城県，京都府からの入荷。主力の愛知県では生育期の天候不順による作柄不良が見られ，入荷量は前年同期を 3 % 下回った。 価格は，不況による需要の低迷が続いており，前年同期を 2 0 % 下回る結果となった。
ハウレンソウ	京都府，徳島県を中心に，福岡県，茨城県，熊本県からの入荷。主力の京都府，徳島県では低温による生育遅れが見られ，入荷量は前年同期を 1 8 % 下回った。 価格は，入荷減により前年同期を 1 8 % 上回った。
レタス	兵庫県を中心に，徳島県，長崎県，愛媛県，岡山県からの入荷。各産地とも生育期の天候不順によって作柄が悪く，入荷量は前年同期を 1 5 % 下回った。 価格は，加工業務を中心に不況による需要の低迷が続いており，入荷減ながら前年並みとなった。
【果菜類】 キュウリ	宮崎県を中心に，高知県，徳島県，愛媛県，滋賀県からの入荷。各産地とも曇天と低温による生育遅れが見られ，入荷量は前年同期を 4 % 下回った。 価格は，加工業務を中心に不況による需要の低迷が続いており，入荷減ながら前年同期を 6 % 下回った。

ナス	高知県を中心に，岡山県，徳島県からの入荷。 各産地とも曇天と低温による生育遅れが見られ，入荷量は前年同期を 12 % 下回った。 価格は，加工業務を中心に需要が低迷しているものの，入荷減により前年同期を 3 % 上回った。
トマト	熊本県を中心に，福岡県，京都府，宮崎県，大分県からの入荷。 各産地とも曇天と低温による生育遅れが見られ，入荷量は前年同期を 6 % 下回った。 価格は，不況による需要の低迷が続いており，入荷減ながら前年同期を 4 % 下回った。
ピーマン	宮崎県を中心に，高知県，鹿児島県からの入荷。 各産地とも曇天と低温による生育遅れが見られ，入荷量は前年同期を 9 % 下回った。 価格は，入荷減により前年同期を 7 % 上回った。
【土物類】 バレイショ （メーク含む）	北海道を中心に，長崎県，鹿児島県からの入荷。 主力の北海道産は夏期の長雨等による品薄状態が続いており，入荷量は前年同期を 8 % 下回った。 価格は，全国的な品薄状態が続いており，前年同期を 25 % 上回った。
タマネギ	北海道を中心に，兵庫県，アメリカ，中国，静岡県からの入荷。 主力の北海道産は夏期の長雨等により品薄状態が続いているものの，輸入物の入荷増と中央集散機能の発揮により入荷量は前年並みとなった。 価格は，全国的な品薄状態から，前年同期を 58 % 上回った。
【その他野菜】 生シイタケ	徳島県を中心に，和歌山県，広島県，北海道，岡山県からの入荷。北海道と和歌山県の生産面積が増えており，入荷量は前年同期を 4 % 上回った。 価格は，不況による需要の低迷が続いており，前年同期を 6 % 下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	和歌山県を中心に，福岡県，大阪府，静岡県，香川県からの入荷。本年は表年で豊作傾向だったものの，前月の降雨で商品化率が低下し，入荷量は前年並みとなった。 価格は，流通在庫が多く，さらに単価の安い小玉傾向での入荷となったため，前年同期を３９％下回った。
イヨカン	愛媛県からの入荷。 作柄は前年並みだったものの，不況による需要の低迷から出荷調整があり，入荷量は前年同期を２１％下回った。 価格は，出荷調整によって入荷減となったものの，前年同期を１１％下回った。
ふじ （サン含む）	青森県を中心に，秋田県，岩手県，長野県からの入荷。 各産地とも小玉傾向での入荷となり，入荷量は前年同期を２０％下回った。 価格は，入荷減によって前年同期を８％上回った。
王林	青森県を中心に，岩手県からの入荷。 各産地とも小玉傾向での入荷となり，入荷量は前年同期を１９％下回った。 価格は，入荷減によって前年同期を１７％上回った。
イチゴ	熊本県を中心に，福岡県，大分県，佐賀県，長崎県からの入荷。 各産地とも順調な作柄であり，入荷量は前年並みとなった。 価格は，不況による需要の低迷から前年同期を９％下回った。
アールス	静岡県を中心に，高知県，熊本県，宮崎県からの入荷。 各産地とも生育期の低温で遅れていたものが当月へ集中入荷し，入荷量は前年同期を１７％上回った。 価格は，入荷増により前年同期を１５％下回った。